



1. 説明文
(1) この水害リスクマップ(外水氾濫部)は、流域治水の推進を目的として、年経過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150、想定最大規模の氾濫による外水氾濫による想定浸水深50cm(床上浸水相当)以上を示した図面です。
(2) この水害リスクマップ(外水氾濫部)は、(令和12年度末時点)における吉野川、田吉野川、今切川の河道及び治水施設等の整備状況を踏まえて、年経過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の範囲に付する洪水により吉野川、田吉野川、今切川が氾濫した場合の浸水深をシミュレーションにより算出したものです。
(3) このシミュレーションの実態にあたっては、支川の(保水による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河川条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なる、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップ(外水氾濫部)に示されている年経過確率と浸水深が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備方針の基本となる水害想定条件(洪水発生(降雨発生)：吉野川、昭和44年9月豪雨、田吉野川、今切川、昭和47年9月豪雨、梅雨雨量など)を用いているため、既に公表している水防法に基づく洪水想定区域、河川整備方針の浸水想定時刻は各種事業計画立案時に事業効果を確認するために用いたシミュレーション結果と異なる場合があります。

